

| 2014年度 後期 | | リフレクションペーパー | | | | | |
|---------------------|--|-------------|-----------|------|------|-----|------|
| 学科名 | 経営ビジネス学科 | | | | | | |
| 科目名 | ゼネラル英語 II | | | | | | |
| 科目区分 | リテラシー科目 | 単位数 | 1 | 開講時期 | 後期 | | |
| 必修・選択の別 | 選択必修 | | | | | | |
| 担当者 | 肥川絹代 | | | | | | |
| 授業の到達目標 (シラバスから) | <p>本講義では、将来を見据えて、就活の場で、そして社会人としてキャリアを積む過程で必ず必要とされるプレゼンテーションのノウハウを習得する。グループに分かれて、プレゼンを用意し、英語で発表をしていくことで、リサーチ力、コミュニケーション力、スピーキング力が鍛えられることを目指している。</p> <p>到達目標は下記の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサーチ力をつける。 ・プレゼンテーション力をつける。 ・コミュニケーション力をつける。 ・パワーポイントの使い方の習得。 ・スライドの作り方の習得。 | | | | | | |
| 日程と内容 | <p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法。 Topic: Summer vacation 第2回：Project 1 "Introducing Yourself": Step 1 第3回：Project 1 "Introducing Yourself": Step 2 第4回：Project 1. "Introducing Yourself": Step 3 第5回：Project 1. "Introducing Yourself": Presentation 第6回：Project 2 / 5. "News Digest": Step 1 第7回：Project 2 / 5. "News Digest": Step 2 第8回：Project 2 / 5. "News Digest": Step 3 第9回：Project 2 / 5. "News Digest": Presentation 第10回：Project 2 / 5. "News Digest": Presentation 第11回：Project 6 "Talking about Your Future Plans" : Step 1 第12回：Project 6 "Talking about Your Future Plans" : Step 2 第13回：Project 6 "Talking about Your Future Plans" : Step 3 第14回：Project 6 "Talking about Your Future Plans" :Presentation 第15回：Project 6 "Talking about Your Future Plans" :Presentation</p> | | | | | | |
| 成績評価基準 | 定期試験 | | 実技 | | | | |
| | 臨時試験 | | 部外評価 | | | | |
| | 報告書・レポート | 30% | プレゼンテーション | | 40% | | |
| | 課題 | | 積極的授業参加 | | 30% | | |
| | 演習 | | 計 | | 100% | | |
| 授業到達目標の達成度 | 概ね達成できた。特に、リサーチ能力は、かなりついたのではないと思われる。プレゼンテーション能力に関しても、数名ではあるが、かなり上達を見せた学生もいた。ほとんどの学生が作成したパワー・ポイント、スライドには工夫が見られた。 | | | | | | |
| 反省点 | 半期で英語によるプレゼンテーション3回を義務づけいたしました。その結果、学生によっては、発表の練習が十分ではない学生も見受けられた。 | | | | | | |
| 来年度の計画 | 卒論研究発表の場でも、社会に出ても求められるプレゼンテーション力。それに加え、近年のグローバル化に伴い、英語によるプレゼンも今後必要とされることは明らかである。来年度も英語によるプレゼン能力を高めるよう指導していきたい。プレゼン作成のみならず発表の練習をする時間ももうけたい。 | | | | | | |
| 授業評価アンケートに対するコメント | 概ねいい評価である。どの学生も、自分の能力を精一杯に出してくれたと思う。特に、時事問題に関してニュースという形で発表という2回目のプレゼンテーションでは、全員ではないが、内容を深めようと悪戦苦闘する学生の姿もあり、それが達成感につながったのではないかと推察される。 | | | | | | |
| 履修登録者数 | 19名 | 定期試験受験者数 | 16名 | 合格者数 | 16名 | 合格率 | 100% |